

参考:北海道・東北エリアにおける傾向

本アンケート調査を、北海道・東北エリア在住学生(n=407)に絞り、全国データと比較をしたところ以下のような傾向が見られました。

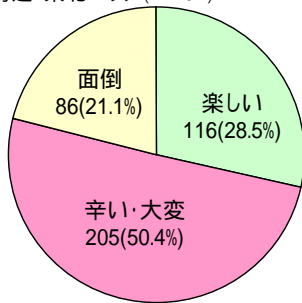
【就職活動における心理】

北海道・東北エリア学生の50%が現在の就職活動を「辛い・大変」と感じており、全国(52%)の割合をわずかに下回っている。同時に、先輩の就職活動を見て「厳しい就職環境が続くけれど、自分はなんとかなる」と思っている学生は16%にとどまり、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならない」と感じている学生(69%)が多数を占めている。就職活動が「楽しい」と感じている学生と「辛い・大変」とした学生のいずれも「なんとかなる」の割合はあまり変わらず、「がんばらなければならない」とする認識は共通している。また、北海道・東北エリアの「がんばらなければならない」とする学生の割合は全国(67%)と比べるとおおむね同水準となっている。

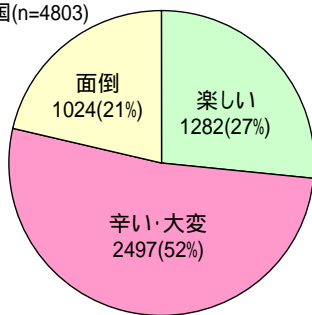
現在の就職活動に対する心境

(単一回答)

北海道・東北エリア(n=407)

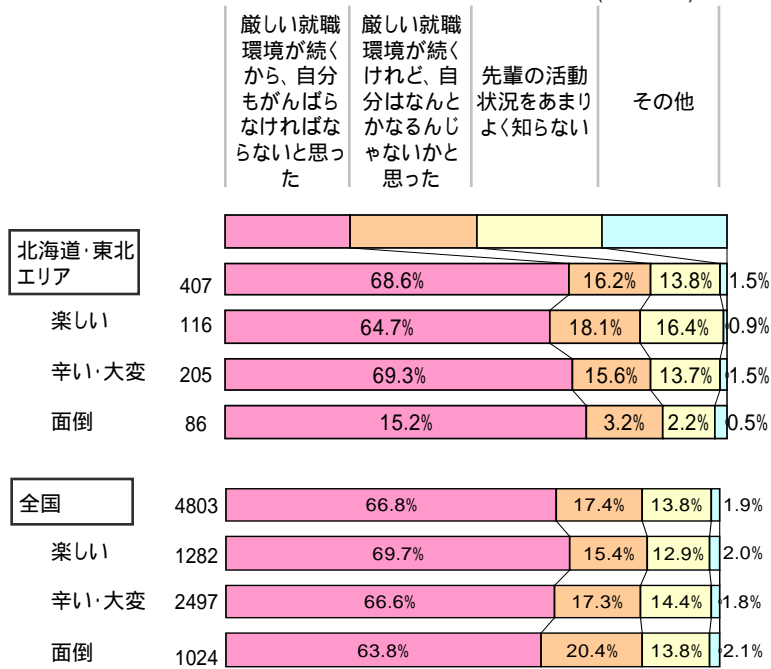


全国(n=4803)



一つ上の先輩の活動に対する印象(心境別)

(単一回答)



【就職活動の状況】

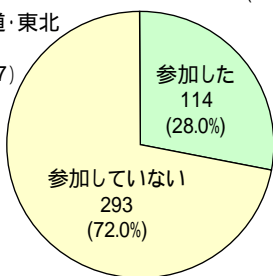
インターンシップへの参加学生の割合が28%と全国より12.5ポイント低く、OB・OG訪問については、「訪問した」が16%と、全国より8.6ポイント低かった。

しかし、訪問実施者のOB・OG訪問の人数では、3人以上の割合は4割を超え、全国とほぼ同水準となっている。

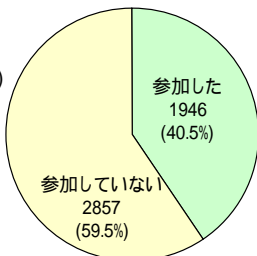
インターンシップ参加の有無

(単一回答)

北海道・東北エリア(n=407)



全国(n=4803)

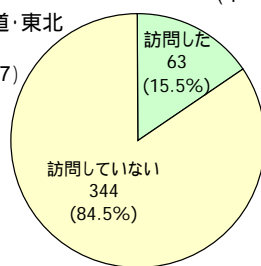


インターンシップの参加社数について問い、0社を「参加していない」、1社以上を「参加した」とした。

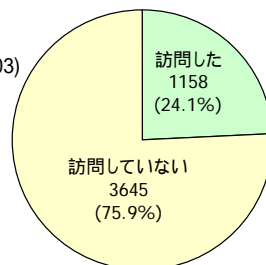
OB・OG訪問の有無

(単一回答)

北海道・東北エリア(n=407)



全国(n=4803)

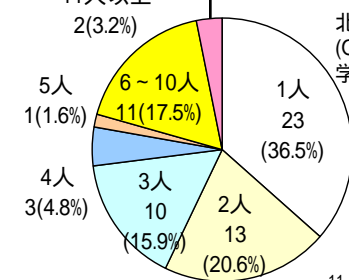


OB・OGの訪問人数について問い、0人を「訪問していない」、1人以上を「訪問した」とした。

OB・OG訪問した人数

(単一回答)

北海道・東北エリア(OB・OG訪問あり)学生/n=63



全国(OB・OG訪問「あり」)学生/n=1158

